




## ボタンアプリ

---

- [ボタンアプリの概要](#) (1 ページ)
- [プログラム可能ボタン](#) (1 ページ)
- [ボタンアプリにアクセス](#) (3 ページ)
- [ボタン機能の変更](#) (4 ページ)

## ボタンアプリの概要

ボタンアプリ  を使用すると、電話機のプログラム可能なハードボタンのアクションを定義できます。



- 
- (注) 一部の組織では、管理者が特定のアプリケーションの目的のためにボタンを設定しているため、これらのボタンを変更することはできません。ボタンの割り当てを変更できない場合は、管理者に確認してください。
- 

## プログラム可能ボタン

次の図と表は、電話機のプログラム可能なボタンを示しています。



- 
- (注) Cisco Wireless Phone 840 と Cisco Wireless Phone 860 のプログラム可能なボタンは同じ場所ではありません。また、Cisco Wireless Phone 840 および 840S には [指紋 (Fingerprint)] ボタンはありません。
-

図 1: Cisco Wireless Phone 840 および 840S のプログラム可能なボタン

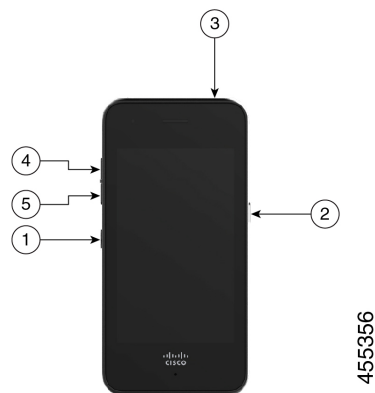


図 2: Cisco Wireless Phone 860 および 860S のプログラム可能なボタン

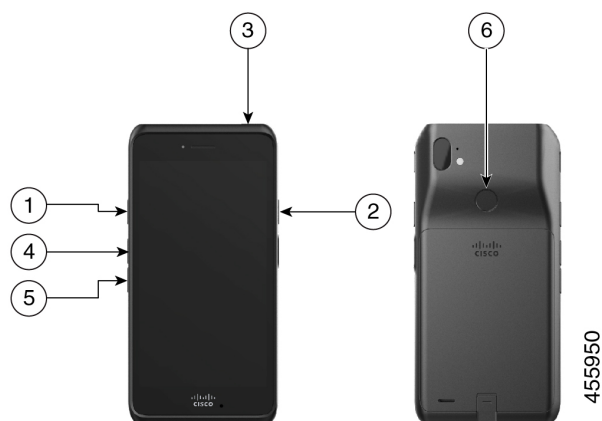


表 1: プログラム可能ボタン

図表番号	プログラム可能なボタン
1	左ボタン
2	右ボタン
3	トップへ
4	音量大
5	音量小
6	指紋 — Cisco Wireless Phone 860 および 860S 専用。

## プログラム可能なボタンのアクション


以下は、プログラム可能なボタンの潜在的なアクションです。




(注) すべてのプログラム可能なボタンですべてのアクションを使用できるわけではありません。

- アクションなし
- ホーム キー
- バック キー
- メニュー キー
- PTT
- 緊急 (Emergency)
- 音量大
- 音量小
- アプリケーションの実行
- URL を開く
- スキャナー バーコードスキャナ対応電話機でのみ使用可能。
- 指紋 — Cisco Wireless Phone 860 および 860S の [指紋 (Fingerprint) ] ボタンでのみ使用可能。
- カスタム 1 — アプリプログラマに連絡して、カスタムアクションを作成。
- カスタム 2
- カスタム 3
- カスタム 4

## ボタンアプリにアクセス

電話機でボタンアプリ  を開くと、プログラム可能なボタンアクションを表示および変更できます。アプリケーション画面には、プログラム可能なボタンとその現在のアクションが表示されます。

## 手順

ボタンアプリ  にアクセスします。

## デフォルトのボタン設定

以下はデフォルトのボタン設定です。

表 2: デフォルトのプログラム可能なボタン設定


プログラム可能なボタン	デフォルト設定
左ボタン	アクションなし (Cisco Wireless Phone 840 および 860 の場合) スキャナ (Cisco Wireless Phone 840S および 860S のみ)
右ボタン	PTT
トップへ	緊急 (Emergency)
指紋 (Cisco Wireless Phone 860 および 860S のみ)	フィンガープリント
音量大	音量大
音量小	音量小

## ボタン機能の変更

電話機のボタンのデフォルトの動作を変更できます。ボタンのアクションを選択すると、変更が自動的に保存されます。

ボタンの動作を変更できない場合は、管理者に連絡してください。

## 手順

ステップ 1 ボタンアプリ  にアクセスします。

ステップ 2 [ボタン設定 (Buttons settings)] 画面から、目的のボタンをタップします。

ステップ 3 リストから目的のアクションをタップします。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。